

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600750
法人名	株式会社 ジェイコム
事業所名	グループホーム丹原の郷
所在地	愛媛県西条市丹原町池田 1 2 6 7 - 1
自己評価作成日	平成21年7月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・季節の旬の物を味わっていただけるよう配慮している。梅干・ラッキョウ漬け、干し柿作りなどを行っている。  
 ・ホーム内の行事だけでなく、苺、すもも、いちじく、柿狩りなどに出かけ収穫を楽しんでいる。夏には、丹原町商店街の七夕祭りに七夕飾りを作り協賛している。製作にはデイサービスの利用者にも協力を得て、みんなで力を合わせている。利用者に菊を一鉢ずつ選んで頂き、毎日水遣りをして、秋の菊見会にむけて育てている。  
 ・自分でできることはしてもらい、役割を持って生活していただけるよう支援している。（下膳・自室の掃除機かけ・雑巾がけ・上履きの裏をふくなど）

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

地域で行われる敬老会には、職員代表がお手伝いに出ておられる。事業所が育てている菊を展示する「菊見会」には、多数の方が訪れている。野菜を届けて下さった方は、お茶を飲んで帰られたり、利用者が庭でお茶を飲んでいると立ち寄りてくれたり、又、葉牡丹を育てることを協力して下さっている。  
 旬の野菜や地元の食材を使用するよう心掛けておられる。梅干やらっきょう・佃煮の他、白菜や野沢菜等の漬物も手作りされている。利用者は食材の下ごしらえや下膳・食器洗い等、個々に出来ることを職員と一緒にされている。調査訪問時には、地元の方からいちじくの差し入れがあった。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. <b>利用者の1/3くらいが</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム丹原の郷

(ユニット名) 北町

記入者(管理者)

氏名 山内 美登里

評価完了日 平成21年 7月 20日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			掲示や名札の裏に掲載しており、実践出来る様に努めている。	
			(外部評価)	
			理念の一つに「地域の行事に参加しよう」と掲げ、積極的に地域とかかわる事をすすめておられる。地元商店街の七夕祭りには作品を出展され、今年は「愛媛銀行賞」を受賞された。又、七夕祭り実行委員会には職員代表も参加して、地元役員との交流の輪も広がった。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域の七夕祭りに出品し、見物に行ったり、秋祭りや神明祭に参加し、地域の方々と交流を持つように努めている。また、一部の利用者は、地区の敬老会にも参加している。	
			(外部評価)	
			地域で行われる敬老会には、職員代表がお手伝いに出でおられる。事業所が育てている菊を展示する「菊見会」には、多数の方が訪れている。野菜を届けて下さった方は、お茶を飲んで帰られたり、利用者が庭でお茶を飲んでいと立ち寄ってくれたり、又、葉牡丹を育てることを協力して下さっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			地域の方々からの認知症の相談を受けている。学生の職場体験の受け入れも積極的に行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、家族や地域の方、利用者の方にも参加していただいている。各ユニットから写真を使って、行事などの報告をして家族や地域の方からの意見を伺いサービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 会議案内は、全家族にされており、ユニットごとに利用者の代表者も参加されている。初めて参加されたご家族から、意見箱設置の提案があり、元々あった意見箱を大きなものに替えられた。婦人会長の方からの提案で、婦人会会員と利用者で「いも餅」作りをされた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 管理者が対応している。市町村担当者と情報交換を常に行っている。施設で行っている行事(菊見会、花見など)に参加していただけるよう案内をしている。</p> <p>(外部評価) 市の介護相談員を受け入れておられ「利用者の気持ち」等を聞いてもらっている。市の職員に「高齢者の尊厳と保持」と題して全職員に向けて講演していただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束について正しく理解できるよう研修に参加している。また勉強会なども催し、職員全てが理解を深めていっている。日常的に身体拘束の必要はない。日中は鍵をかけず、利用者の状態や希望に応じて戸外で過ごしたり出来るよう支援している。</p> <p>(外部評価) 管理者は、「人として自分がされて嫌な事はしない」等、日頃より職員に「立場を換えて考えてみる事」を話しておられ、利用者の立場になって考え、拘束のないケアに取り組まれている。ユニット職員同士の連携も図りながら、利用者を見守っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加したり、勉強会を開いたりして学習に努めている。また、些細な発言に対しても職員同士が注意しあうようにしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者が対応している。制度についての研修に参加している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が対応している。入居前に文書を用いて説明をしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談窓口を設けている。運営推進会議で話し合う機会を作って運営に活かしている。 (外部評価) 事業所では、利用者・ご家族に食事や行事についてアンケートをとり、要望を聞いておられる。又、運営推進会議時にも利用者やご家族の意見を聞いておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	勉強会、朝夕の申し送り時に、意見や要望を述べている。また気がついた時には、その都度リーダーを通して伝えている。  事業所職員で話し合い、介護用ベットや入浴リフトの導入を検討してもらえるよう、法人に要望されている。事業所の制服について、職員と法人とで話し合い、2通り(ブラウス・Tシャツ)から選べるようにされた。	
			(外部評価)		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	総会を開いたり、管理者が職員一人ひとりと話し合う機会を設けている。職員の資格取得を支援し、勉強会を行ったり資格取得の情報を提供している。また、資格を新に取得した職員を表彰、報奨金を出してくれたりしている。	
			(外部評価)		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	研修に参加したり、勉強会を行っている。勉強会の内容は皆で意見を出し合い、年間の予定を立てている。施設外での研修は年間の研修予定表を見て、受講を希望している。	
			(外部評価)		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	グループホーム連絡協議会東予地区の研修に参加し、地域の同業者と交流している。他のグループホームとのネットワーク作りを行い、サービスの向上へとつなげていけるように努めている。	
			(外部評価)		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	管理者が入居前より本人、家族より情報を収集し、馴染みの関係作りに努めている。併設のデイサービスを利用するなどして、ホームに馴染んでいただけるよう支援している。	
			(外部評価)		



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			不安に思っている事、困っている事などを入居の申し込み時より相談を受け、その時に応じた対応に努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			利用申し込み時に困っている事や緊急性などを勘案して対応している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			生活している、その場、その時々で一緒に感じ合えるように努めている。漬物の漬け方、野菜の下ごしらえの方法等を教えてもらうことがある。労いの言葉や、職員を気遣う行動もある。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			家族の方に利用者の日々の様子を伝え、どのように関わると利用者がより生き生きと暮らせるかなど話し合い、協力しあえる関係作りに努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			地域の敬老会に参加したい方には、参加していただけるよう支援している。行事の後に訪問してくれる方もいる。	
			(外部評価)	
			利用者の中には出身地の敬老会に参加する方もおられ、事業所で送迎されている。併設デイサービスに出身地区の知人が利用されている場合は、時には、一緒に過ごせるような機会作りをされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者同士の関係が少しでも円滑になるよう、職員が間にはいり配慮している。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	入院された方がいれば、お見舞いに行っている。他の施設に入所された方の家族からの相談を受けることもある。
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	家族の方から情報を頂いたり日々の利用者の話しの中から思いや希望を聞き出したりし、把握するように努めている。
			(外部評価)	
				日々の生活の中で職員が気付いたことや、ご本人・ご家族から聞き取ったことを「生活歴シート」にまとめておられる。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	家族の方や利用者から今までの暮らしを聞き、情報収集をし、表にしている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	1日の生活の様子を記録している。体調、精神面での変化も記録し職員間で同じ情報の共有に努めている。



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者、家族の方から思いや意見を聞き、また日々の生活の中から得た情報について話し合い、介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、草案の段階でご家族に相談や提案等して、意見を出していただきやすいよう取り組んでおられる。計画は3ヶ月毎に見直しすると共に、事業所オリジナルの「ケア行動計画チェック表」で、毎月評価やモニタリングをされている。毎月行われるケアカンファレンスでは、利用者個々の目標や課題について話し合い、必要に応じて随時見直しされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子や利用者の発言、ケアの内容等を具体的に記録している。職員の気付いた事や利用者の変化は、申し送りノートを活用し、職員間で情報の共有ができるよう努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ショートステイや通所介護を行い、利用者や家族の要望に沿ったサービスを行っている。病院受診・買い物など必要な支援は家族と相談して対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>歌や踊りなどのボランティアが定期的に来訪し、利用者は楽しみにしている。消防署の協力のもと、年2回の避難訓練を実施している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人や家族と話し合い、希望する病院を受診できるよ う支援している。グループ内の医療機関の医師がかか りつけ医となっている方が多く、週1回の定期的な往診 を受けている。近隣の病院も協力してくれている。	
			(外部評価) 市内の病院を受診する際は、職員が同行することが多 い。都合によってご家族の協力をお願いしている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護師を配置しており、利用者の健康状態を知ってい る。体調不良などの時には相談ができ、適切な対応が できている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時に、利用者の普段の状況や、支援方法に関する 情報を医療機関に提供している。主に管理者が家族、 医師と相談しながら早期退院の話し合いを行ってい る。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 管理者が早い段階から本人、家族、協力医療機関の医 師と話し合い、意向を聞き、連携をとっている。ま た、体調に変化が見られた時などに、話し合う機会を 設けている。	
			(外部評価) 管理者は、「介護は職員・家族は愛情」をモットーに 取り組んでおられる。状態変化時には早目にご家族に 声をかけるようにされている。最期までホームで居た いと希望される利用者やご家族は多い。医療が必要と なった時には主治医・ご家族等と、事業所でできるこ とをお話して、ご家族に判断してもらうようになって いる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 事故など発生した際、落ち着いて対応出来るよう研修や勉強会などに参加している。消防署の協力にて実演を交えて学習している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の協力を得て、避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている。(年2回)  (外部評価) 2階ユニットは、ご自分の力で歩行できる方が入居するようになっており、普段から階段の上がり降り等がされている。避難訓練は年2回実施し、誘導方法等は、マニュアル化されている。	近所の工場に協力をお願いされているが、さらに、いざという時の地域からの協力者を増やしていかれてほしい。地域の方達と一緒に災害時の訓練を行う等、全利用者、職員が安全に避難できるよう訓練を重ねたり、協力を得られるよう働きかけていかれてほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 誘導や介助の際に、目立たず、さりげない言葉かけをするように心掛けている。  (外部評価) 職員は、「声の大きさ」に気を付け、「ゆっくりと話す」ことを心がけておられる。職員の利用者への対応について、その時々職員同士で話し合うようにされている。調査訪問時、職員はゆっくりと利用者へ声をかけ、ご本人に了解を得てからかかわっておられる様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 複数の選択肢を提案して、利用者が自分で決める場面を作っている。月1回リクエストメニューの日を設けており、希望のアンケートをとっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な流れのもとで、一人ひとりの気持ちを尊重し、それにに応じて柔軟に支援するよう職員間で話し合いをしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 着替えは本人の意向を優先し、自己決定がしにくい利用者は、職員と一緒に考えている。散髪の希望があれば理美容師(有償ボランティア)に来てもらっている。きわぞりのボランティアも利用している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜切り、調理、盛り付けなど利用者の力に応じた事を分担して行っている。職員と利用者と同じテーブルで食事をとっている。	
			(外部評価) 旬の野菜や地元の食材を使用するよう心掛けておられる、梅干やらっきょう・佃煮の他、白菜や野沢菜等の漬物も手作りされている。利用者は食材の下ごしらえや下膳・食器洗い等、個々に出来ることを職員と一緒にされている。調査訪問時には、地元の方からいちぢくの差し入れがあった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の食事量、水分量をチェックし記録している。栄養のバランスも考えて、利用者の好みを把握し、食べやすい物を取り入れている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを行っている。利用者一人ひとりの力に応じた口腔ケアの介助をしている。義歯については就寝前にはずし洗浄している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)  時間や習慣を把握し、トイレ誘導をすることでトイレでの排泄を促している。排泄チェック表を使用し時間を見計らって誘導している。  (外部評価)  職員の提案で、紙パンツの使用を減らしていく事について話し合われており、現在、できるだけ布パンツで過ごせるような支援に向けた取り組みをすすめておられる。排泄のパターンを把握し、前もって声かけすることで、布パンツで過ごすことが可能になった方もいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)  食材の工夫や、ヨーグルト、センナ茶を飲んでいただいたり、散歩や廊下歩行を取り入れている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)  利用者に合わせた声掛けや、希望を確認し入っていただいている。体調にも合わせ入浴を控えていただくこともある。  (外部評価)  毎日入浴される方・1日おきに入浴される方等、ご本人の希望に合わせて支援されている。冬場は「温まって寝たいので、寝る前にお風呂に入りたい」と希望される方もあり、希望に添えるよう努めておられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)  日中はリビングで過ごしたり、皆さんと一緒にお話したり、ソファでくつろいだりされている。入眠前や眠れない時には、温かい飲み物をすすめたり、一緒に話をしたりしている。	



## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ファイルを作成し、職員が内容を把握できるようにしている。服薬時には、本人に手渡し、きちんと服用出来ているか確認している。薬の処方や用量が変更されたり状態変化が見られる時は、いつもより詳細な記録をとっている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 食事作り、梅干し、干し柿作りなど、利用者の経験や、知恵を発揮する場面をつくっている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 季節ごとの花見に出かけたりすることで、季節を肌で感じてもらい、心身の活性につながるよう日常的にも散歩や外気浴したりして気分転換できるよう支援している。ドライブ時にお弁当を持っていき、戸外で食べる楽しさも感じていただいている。 (外部評価) 利用者の希望を募って毎朝近くを散歩されており、玄関には麦わら帽子が用意されていた。各ユニットでは写真等を見ながら、利用者の行きたい場所の希望等を聞き取り、出かけられることもある。個々の買い物他、墓参り等はご家族の意見を聞きながら、職員がお連れすることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 施設内でお金を使う機会は、パン屋さんが来たときくらいである。個別に必要な時は立て替え支払を行っている。個人のお金や財布は事務所の金庫で預かり必要な時にお渡しするようにしている。現在は家族や本人納得の上に管理させていただいており、個人で持ちたいなど問題となることはない。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話への対応が出来る方には電話に出させていただいている。毎年、年賀状や暑中見舞いを出す為はがきを用意している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節に応じた壁飾りを作ったり、花を活けたり写真を貼ったりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>菊見会に向けて沢山の菊が育てられている。利用者が水やりをしてくれることもある。トイレには手すりを設け、利用者が使いやすくされている。居室の窓にはすだれがかけられ、夏の日差しを和らげてあった。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>廊下の窓際にソファを置き、一人で過ごしたり、仲の良い利用者同士でくつろいだりできる空間作りをしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>自分が作った物やプレゼントされたもの、家族から送られてきたはがきや写真などを飾っている。また、以前に使っていたソファやタンスを持って来ている方もいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>使い慣れた家具を持ち込まれたり、娘さんからの絵手紙や日常のお気に入りの写真を貼った居室もみられた。花の好きな方の居室には、職員が季節の花を飾っておられた。消臭効果がある観葉植物を置いておられる方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレや浴室にはひと目で分かるように場所名を大きく書いて張っている。部屋には表札を作っている。廊下、浴室、トイレには手すりがついている。</p>	